

西部丘陵東地区 進出協定締結式 資料



西部丘陵東地区 進出企業第1号が決定 ヨネックス株式会社と長岡市が進出協定を締結

西部丘陵東地区（長岡市高頭町地内）に、越路地域に生産拠点を持つヨネックス㈱が進出することが決定し、本日、長岡市と進出協定を締結します。

西部丘陵東地区（産業ゾーン）への進出企業は、同社が第1号となります。

世界的スポーツ製品メーカーに長岡市内で新たな拠点を整備していただくことは、地方創生の一番の課題である地域経済の活性化、働く場の確保に大きな効果があります。

今後、西部丘陵東地区からも、高品質かつ高性能なヨネックスブランドのスポーツ製品が世界に向けて発信されます。

市は、世界を舞台に活躍するヨネックス㈱に対して、拠点整備における適地の提供をはじめ、事業活動に協力していきます。

1 ヨネックス㈱の進出について

- ・ヨネックス㈱は、スポーツを愛する世界のお客様のご要望にお応えし、高品質の製品を安定してお届けするべく新工場建設のため、西部丘陵東地区への進出を決定しました。
- ・生産施設のほか、ここで生産するスポーツ製品の研究施設を併設することにより、スピーディーな開発に繋げるといった構想を描いています。
- ・増産に対応する新工場建設用地を年内に取得し、その後、総面積約14ヘクタール（東京ドーム約3個分）の用地を取得します。

2 今後の土地取得予定

第1回	平成27年	(約1.5ha)
第2回	平成28年	(約2.5ha)
第3回	平成29年	(約6.0ha)
第4回	平成30年	(約4.0ha)
合計		約14ha

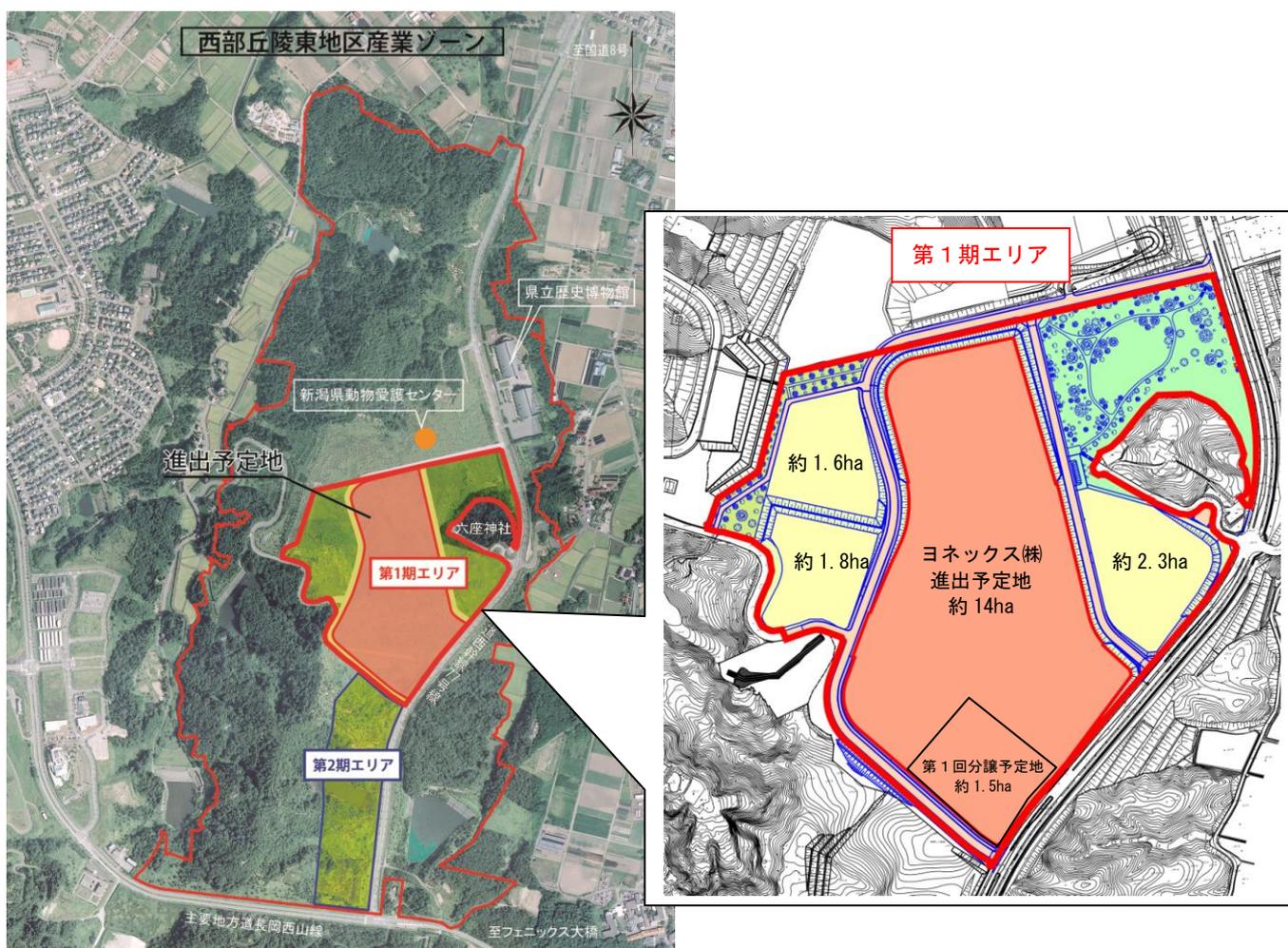
3 協定締結日

平成27年2月6日（金曜日）

裏面へ続く

4 西部丘陵東地区（産業ゾーン）の概要

- (1) 位置 長岡市高頭町地内
- (2) 分譲面積 約 19ha（第 1 期エリア）
- (3) 用途指定 工業地域
- (4) 分譲価格 8,500 円/m²
- (5) 経過 平成 19 年 3 月 ㈱スペースネオトピアから用地を取得
平成 21 年 7 月 「準工業地域」から「工業地域」に用途地域を変更
平成 26 年 8 月 第 1 期エリアの造成工事開始（平成 28 年度末完了予定）
※造成完了区画から順次分譲予定
- (6) 特徴
- ・ 10ヘクタール以上の大ロットにも対応
 - ・ 関越自動車道、北陸自動車道につながる長岡 IC まで車で 5 分
 - ・ 企業の希望に応じて区画や面積を調整し分譲が可能
 - ・ 長岡市企業立地促進補助金（用地取得費 25%）ほか優遇制度あり



問い合わせ：長岡市 商工部 産業立地課

ヨネックス株式会社 新潟生産本部

電話 0258-39-2298

電話 0258-94-2121

ヨネックス株式会社の概要

設立年：1958年（長岡市塚野山で1946年に創業）

本社所在地：東京都文京区湯島3-23-13

代表者：代表取締役社長 米山 勉

資本金：47億660万円

売上高：428億5,019万円（2014年3月期連結）

従業員数：1,431人（2014年9月現在）

事業内容：スポーツ用品（バドミントン、テニス、ゴルフクラブ用品ほか）の製造販売およびゴルフ場の運営

主な拠点：本社、新潟生産本部（長岡市）、東京工場（埼玉県草加市）、大阪、名古屋支店、仙台営業所、福岡営業所、札幌営業所、ヨネックスカントリークラブほか

（関係会社）アメリカ、イギリス、ドイツ、台湾、中国に現地法人

同社は、バドミントンやテニスラケットを開発して以降、強みであるカーボン加工技術を生かし、ゴルフのアイアンやスノーボードなどでもオールカーボンの製品を生み出してきました。

また、昨今の地球温暖化が社会問題となる中、昨年には、このカーボン加工技術を活用し、スポーツサイクルやカーボン製の風力発電用ブレード（羽根）の製造販売事業にも新たに参入しました。

同社のこうした技術、製品開発には、長岡技術科学大学との共同研究が活かされています。